

モノづくりとロジスティクスの連携 ~企業間をつなぐ生産と物流のサイバーフィジカル統合

ファシリテータ

荒俣 晋作(東芝ロジスティクス株式会社)

エディター

織戸 琢郎(日本精工株式会社)

西村 貴司(東芝デジタルソリューションズ株式会社)

益田 崇(東芝デジタルソリューションズ株式会社)

八掛 千香子(東芝デジタルソリューションズ株式会社)



Industrial
Value Chain
Initiative

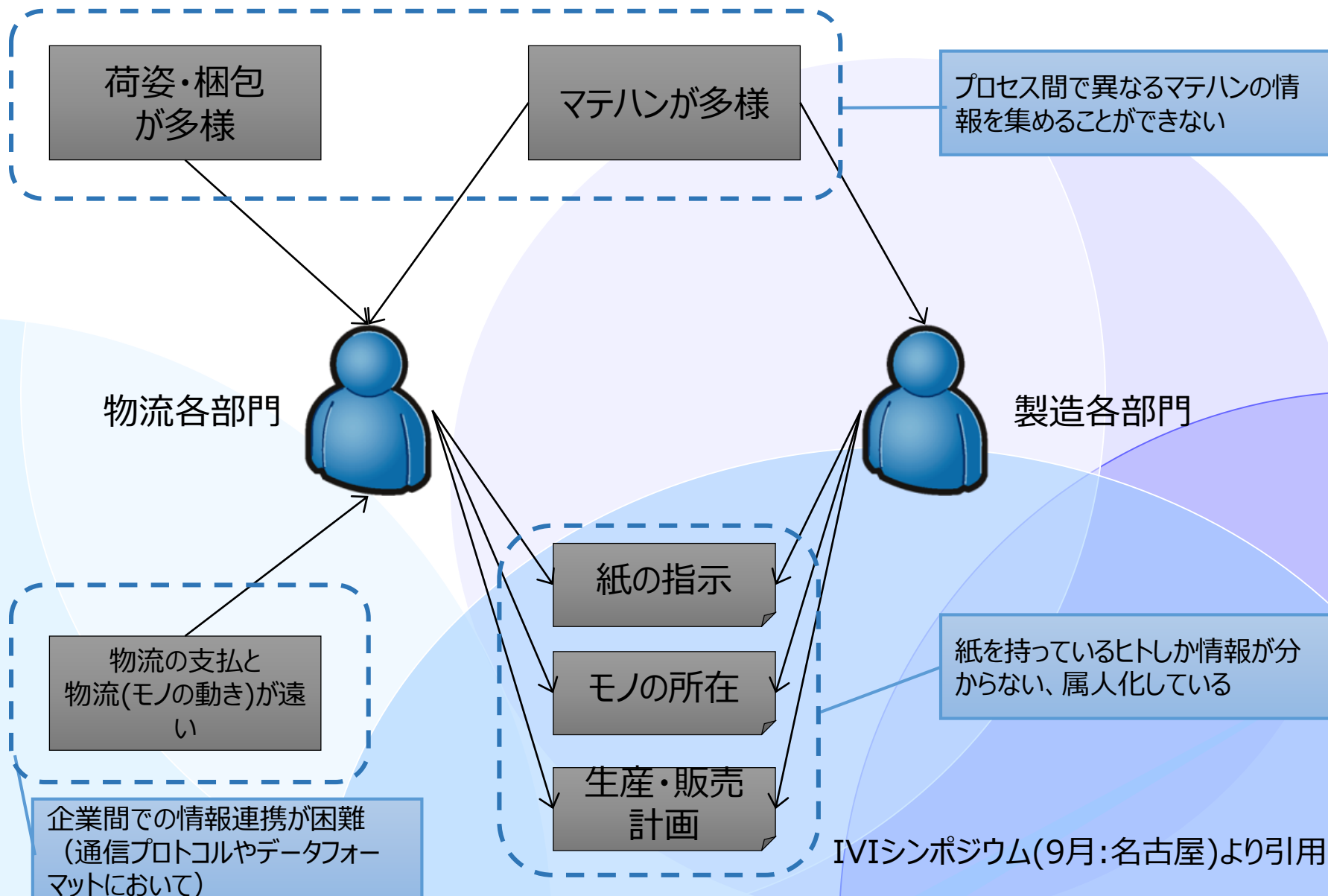


3E04

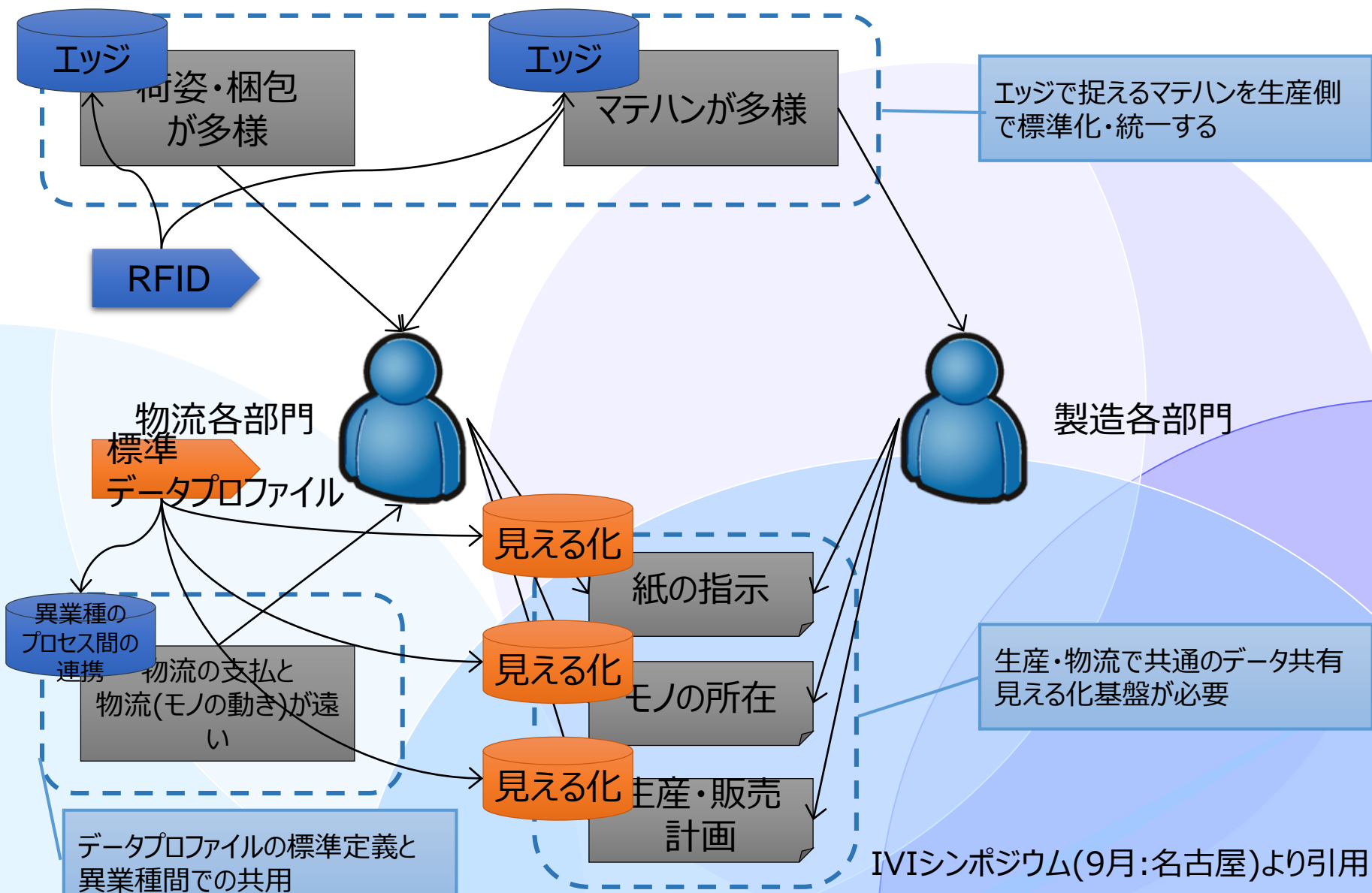


中間シンポジウムまでの共有事項

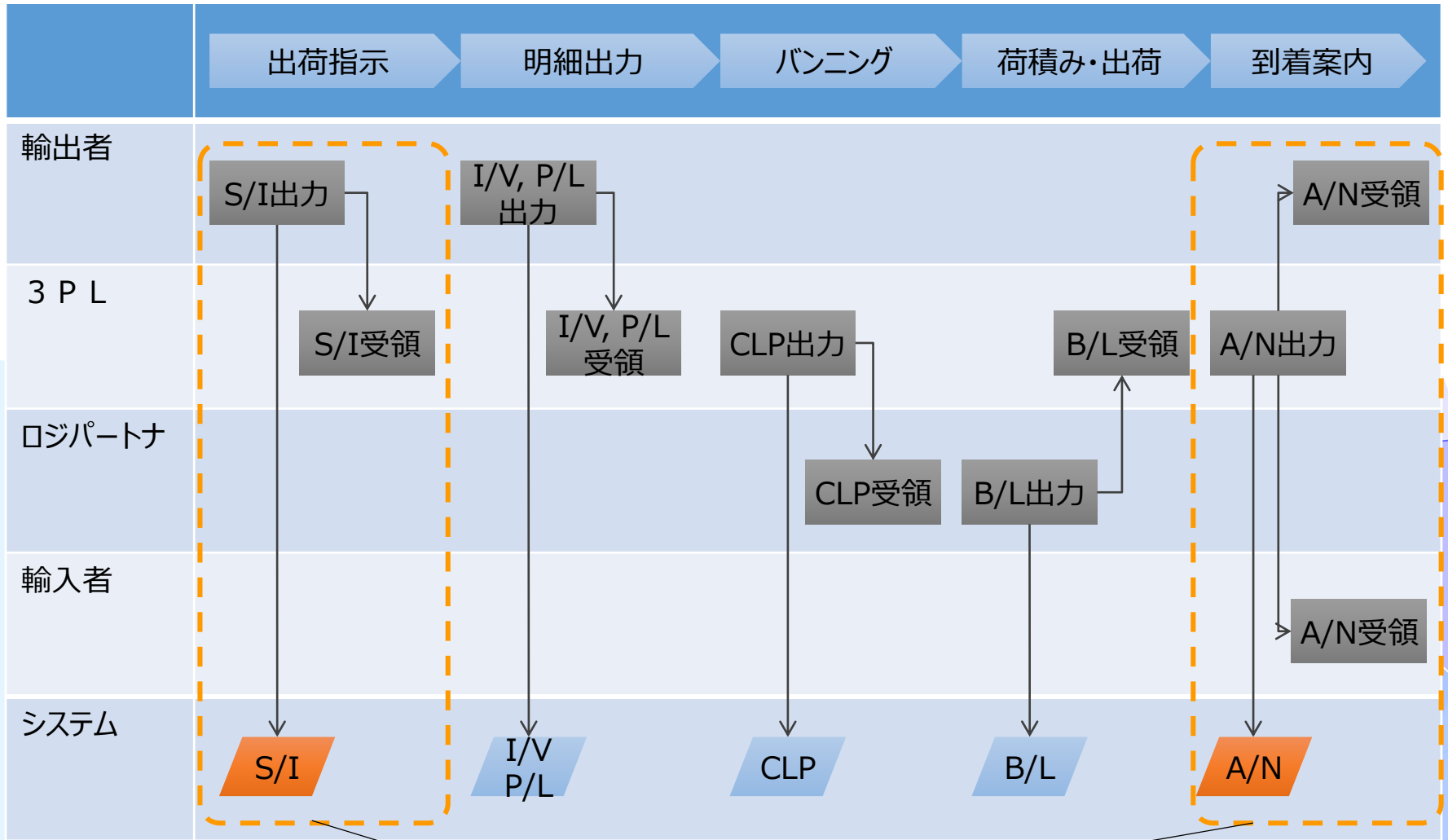
(As-Is) 製造業と物流業間の連携の課題



(To-Be) つながる物流業と製造業

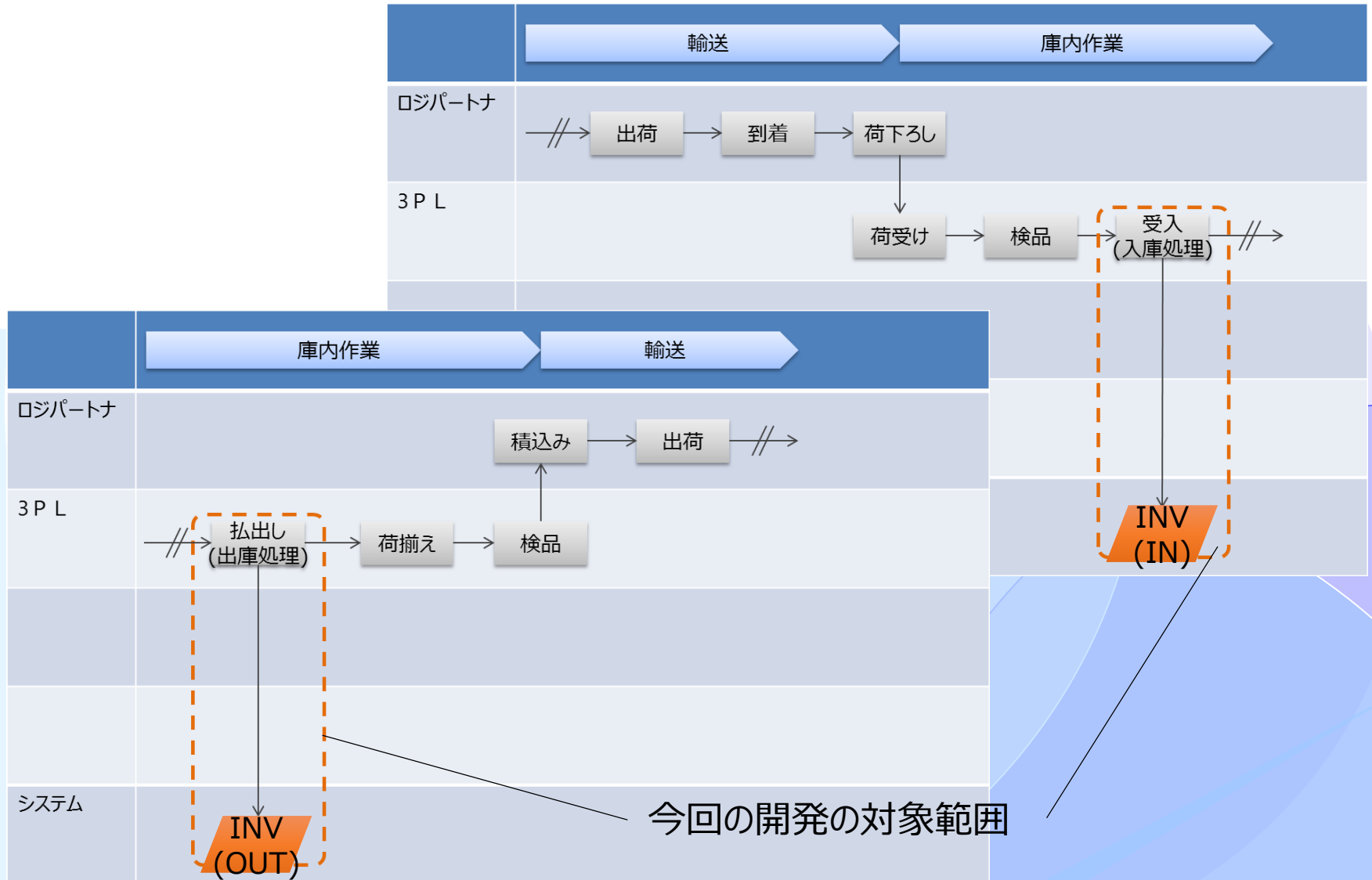


実証実験の対象1 (標準データプロファイル・輸送)



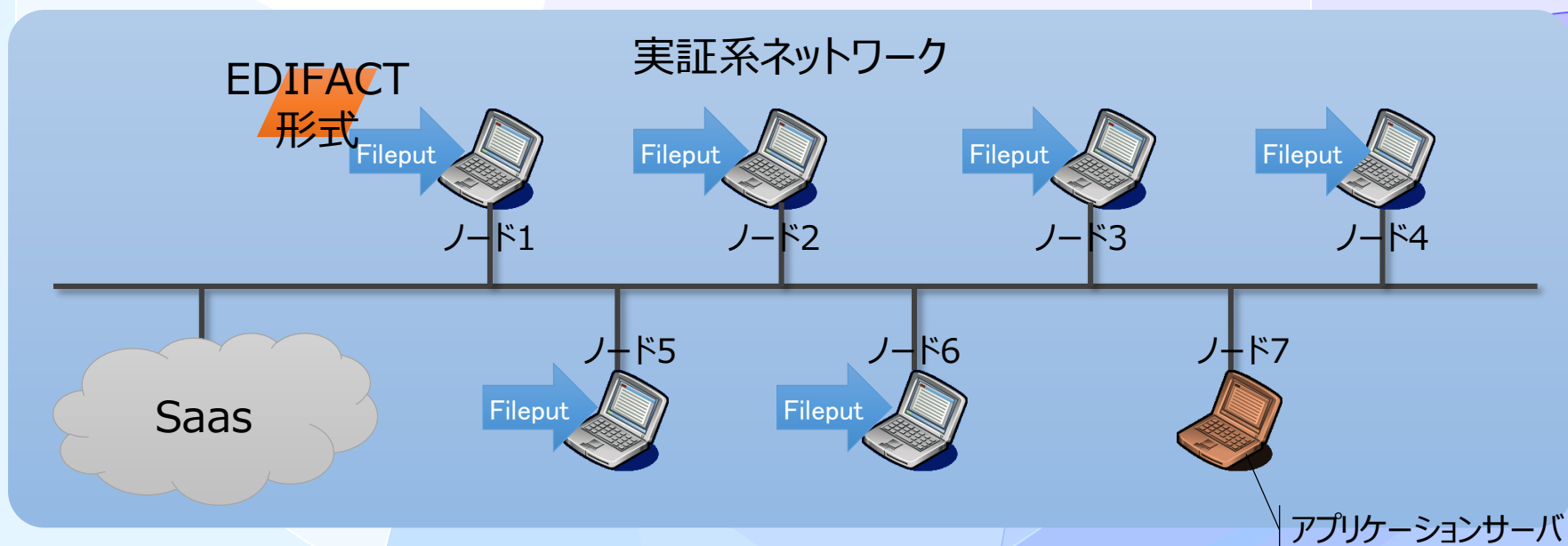
今回の開発の対象範囲

実証実験の対象2 (標準データプロファイル・在庫)



実証実験 (標準プロファイルの通信・共有)

ブロックチェーン	特徴
Ethereum	権限を分散。マイニングが必要。
Hyperledger	特定ノードに権限集中。サービスによる確実な合意形成。
SaaS型 ブロックチェーン	権限を分散。マイニングが必要。パッケージサービスとしての導入。



想定される結果、現時点での課題

- 想定される結果

- ブロックチェーン技術が、企業間連携における情報共有基盤となり得る可能性の検討

- 検証内容例

- EDIFACTとそれを用いるウェブアプリがブロックチェーンを用いて運用可能か(レスポンス等)の検証

- 現時点の課題

- EDIFACT形式のファイルの運用可否の把握